

## ダイオキシン類の状況（環境調査）

この調査結果は、ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項（常時監視）の規定に基づき、市内の市内の環境大気、水質（底質を含む）及び土壌のダイオキシン類による汚染の状況を常時監視した結果を取りまとめたもので、同法第24条の規定に基づき公表するものです。

### 1 調査方法の概要

- (1) 測定期間 平成20年6月～平成20年12月
- (2) 実施機関 郡山市環境保全センター
- (3) 調査の種類及び実施状況  
実施した調査の内容は、次の表-1のとおりです。

表-1 調査対象及び調査の内容

調査対象	調査の内容
環境大気	市内1地点において、季節ごとに年4回調査を実施。
環境水質	市内2河川において、季節ごとに年4回調査を実施。
河川底質	市内2河川において、夏季及び冬季の年2回調査を実施。
環境土壌	市内の公園、小学校の土壌4箇所の調査を実施。
地下水	市内10kmメッシュ16区画をローリング方式により、毎年2地点の調査を実施。
発生源周辺土壌	市内の廃棄物焼却炉を持つ事業場の内、2事業場周辺土壌の調査を実施。

### 2 調査結果の概要

調査の結果は表-2に示すとおり、全ての調査地点で環境基準値以内でした。

表-2 調査対象別の測定結果

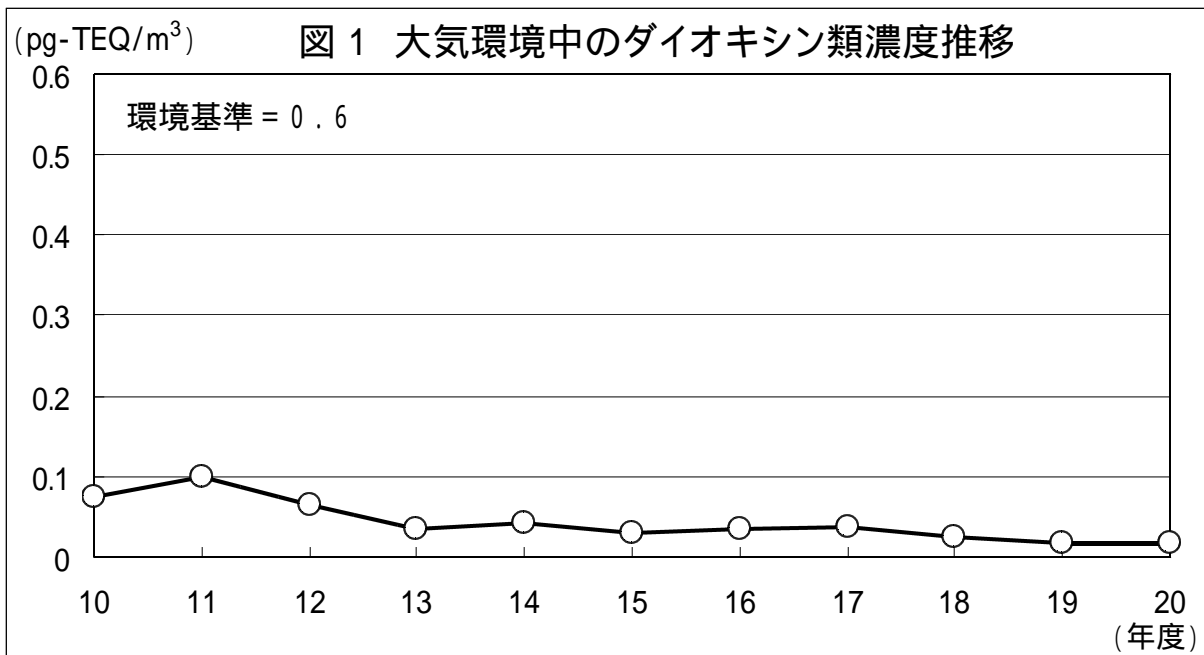
調査対象	調査地点	測定結果	環境基準	平成19年度全国平均
環境大気	開成地区	0.018 pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 1	0.041 pg-TEQ/m <sup>3</sup> (740地点) 濃度範囲 0.0042 ~ 0.58 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	逢瀬川	0.27 pg-TEQ/L		
環境水質	大滝根川	0.081 "	1 pg-TEQ/L 2	0.21 pg-TEQ/L(1,818地点) 濃度範囲 0.0097 ~ 3.0 pg-TEQ/L
	逢瀬川	3.9 pg-TEQ/g		
河川底質	大滝根川	2.9 "	150 pg-TEQ/g 3	7.4 pg-TEQ/g (1,505地点) 濃度範囲 0.044 ~ 290 pg-TEQ/g
	大槻公園	0.016 pg-TEQ/g		
環境土壌	大島小学校	0.76 "	1,000 pg-TEQ/g	一般環境把握調査 2.7 pg-TEQ/g (991地点) 濃度範囲 0 ~ 170 pg-TEQ/g
	大成小学校	0.24 "		
	朝日ヶ丘小学校	0.26 "		
	森永乳業株式会社郡山工場周辺	5.4 "		
発生源事業場周辺土壌	日本全薬工業株式会社周辺	0.017 "	4.3 pg-TEQ/g (294地点) 濃度範囲 0.000060 ~ 98 pg-TEQ/g	
	日和田町高倉地内	0.091 pg-TEQ/L		
地下水	芳賀一丁目地内	0.061 "	1 pg-TEQ/L	0.055 pg-TEQ/L (759地点) 濃度範囲 0.0076 ~ 2.4 pg-TEQ/L

1 : 0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup> とは、1立方メートルの大気に、1兆分の0.6グラム含まれることを示します。

2 : 1 pg-TEQ/L とは、1リットルの水に1兆分の1グラム含まれることを示します。

3 : 150 pg-TEQ/g とは、1グラムの川底の泥に1兆分の150グラム含まれることを示します。

一般大気環境中のダイオキシン濃度については図1に示すように、環境基準の0.6を下回っており、その濃度は年々低下傾向にありました。



調査地点：H10,H11 年度 環境保全センター屋上  
H12 年度から 開成山公園